



報道各位

新潟市報道資料
令和5年6月30日

新潟市都市政策部

にいがた2kmエリアを対象とした事業が 経済産業省事業に採択されました。

新潟市では公民連携事業として「にいがた2km」に取り組んでいます。

まちづくりにはデータ利活用が重要であることから、昨年度末に設置した、新潟駅・万代地区周辺エリアプラットフォームでも、データ活用に向けた地域アプリの勉強会などの開催を通じて、検討を進めています。

この度、「にいがた2km」を対象エリアとして地域課題解決に向けた検証事業として、下記の通り、経済産業省「地域新 MaaS 創出推進事業」に BIPROGY(株)等によるデータ利活用実証事業『にいがた地域共創事業体設立プロジェクト』が採択されたのでご案内いたします。

新潟市では「にいがた2km」の取組として、同事業との連携を推進し『本市経済・産業の発展を牽引する成長エンジン』としていくことを目指します。

記

1 採択事業

地域新 MaaS 創出推進事業

データ利活用実証事業「にいがた地域共創事業体設立プロジェクト」

2 採択事業者

BIPROGY(株)

3 参画事業者

エヌシーイー(株)、(株)ジョイフルタウン、(一社)新潟 MICE サポート
長岡技術科学大学等

4 事業概要

別紙参照

以上

【問い合わせ】

新潟市都市政策部 担当：稲葉、須貝

電話：025-226-2696（直通）

メール：niigata2km@city.niigata.lg.jp

**データ利活用実証事業『にいがた地域共創事業体設立プロジェクト』が
経済産業省「地域新 MaaS 創出推進事業」に採択****【概要】**

BIPROGY 株式会社(東京都江東区、代表取締役社長 平岡 昭良、以下 BIPROGY)、エヌシーイー株式会社(新潟県新潟市、代表取締役 大平 豊、以下 エヌシーイー)、株式会社ジョイフルタウン(新潟県新潟市、代表取締役社長 種村 孝樹、以下 ジョイフルタウン)、一般社団法人新潟 MICE サポート(新潟県新潟市、理事長 阿部 正喜、以下 新潟 MICE サポート)、国立大学法人長岡技術科学大学(新潟県長岡市、学長 鎌土 重晴、以下 長岡技術科学大学)などによるデータ利活用実証事業『にいがた地域共創事業体設立プロジェクト』が、経済産業省「地域新 MaaS 創出推進事業」に採択され、新潟市都心軸および周辺エリアにて地域エコシステム創出に向けた実証事業を開始します。

【背景】

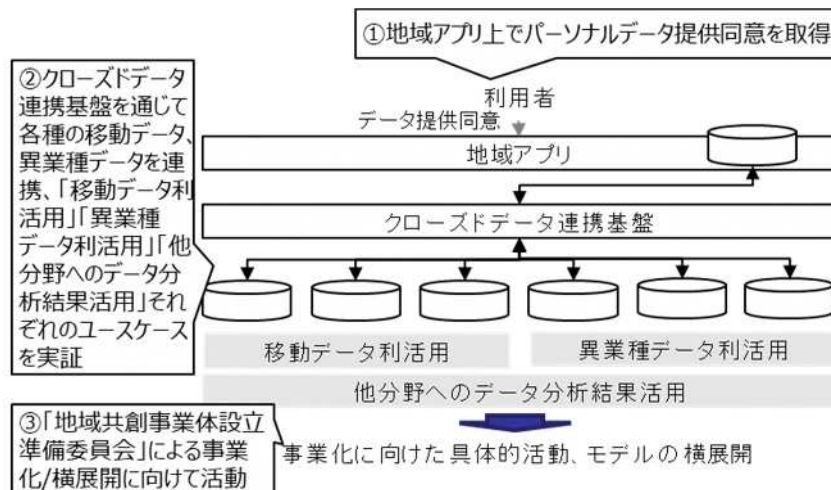
新潟市は、少子高齢化・人口流出・中心市街地の衰退・過度の自家用車依存といった地域課題を抱えています。これらの地域課題解決のため、「にいがた 2km」施策を新潟市などが推進しています。また、BIPROGY、エヌシーイー、長岡技術科学大学は、新潟市において MaaS (Mobility as a Service) および移動データ利活用の実証実験を 2021 年に実施し、利用者のデータ提供受容性検証や移動データの利活用の検証を進めてきました。本実証事業では、事業者間における相互のデータ流通を促進し、地域課題解決のための地域エコシステム創出に向けた活動を行います。

<にいがた 2km について>

「にいがた 2km」とは新潟駅周辺から万代・万代島、そして信濃川を渡った古町へ至る都心軸および周辺エリアを指します。新潟市は、このエリアにおいて高次都市機能の集積や魅力の創出、賑わいづくりを市民とともに取り組むことで、『緑あふれ、人・モノ・情報が行き交う活力あるエリア』を創造し、『新潟市経済・産業の発展を牽引する成長エンジン』としていくことを目指しています。

【実証事業概要】

| | |
|------|--|
| 実施地域 | 新潟市都心軸および周辺エリア（にいがた 2km） |
| 期間 | 2023 年 10 月～2024 年 3 月（予定） |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・付加価値の高いデータ利活用ユースケースを創出 ・地域課題解決のための事業体（地域共創事業体）設立し、地域エコシステムを創出 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかへの移動・活動を促す地域アプリを提供、アプリ上でアプリ取得データ（位置情報データなど）他パーソナルデータ提供同意を取得 ・クローズドデータ（事業者保有ビッグデータ、利用者が提供同意したパーソナルデータ）連携基盤を通じて、官民両面で付加価値の高いデータ利活用ユースケースを実証 ・「地域共創事業体設立準備委員会」にて社会実装と横展開 |
| 特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業者が保有するビッグデータ（非公開情報）を複数組み合わせ、利用者が提供同意したパーソナルデータを活用 ・地域課題の解決と事業性の確保を両立し、早期の社会実装と他地域に横展開 |
| 主な役割 | <p>BIPROGY：全体統括、地域アプリ（L-PASS※¹）およびクローズドデータ連携基盤（Dot to Dot※²）提供と運用、結果検証</p> <p>エヌシーイー：データ分析、データ利活用ユースケース実証</p> <p>ジョイフルタウン：地域アプリコンテンツ管理、実証プロモーション</p> <p>新潟 MICE サポート：市内事業者調整</p> <p>長岡技術科学大学：非集計移動データの効果的活用に関する研究</p> |



【今後の取り組み】

BIPROGY、エヌシーイー、ジョイフルタウン、新潟 MICE サポート、長岡技術科学大学は、本実証事業を通じて、地域共創事業体の事業モデルを確立し、新潟市における地域エコシステムを創出することで、地域課題の解決と地域創生を目指していきます。また、本実証事業で得た知見を横展開することで、他地域の課題解決や活性化にも取り組んでいきます。

以上

- ※1 L-PASS : BIPROGY が提供する地域 DX 推進のためのアプリおよび関連サービス
- ※2 Dot to Dot : BIPROGY が提供するパーソナルデータを安心安全に流通させる分散型データ基盤

■関連リンク

- ・新潟都心のまちづくり「にいがた 2km」

<https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/jigyoproject/niigata2km.html>

- ・BIPROGY 株式会社 <https://www.biprogy.com/>
- ・エヌシーイー株式会社 <https://corp.nceinc.co.jp/>
- ・株式会社ジョイフルタウン <https://joyfultown.jp/>
- ・一般社団法人新潟 MICE サポート <https://niigata-mice.jp/>
- ・長岡技術科学大学 <https://www.nagaokaut.ac.jp/>

- ・地域活性化 DX サービス「L-PASS」 <https://l-pass.jp/>
- ・分散型企业間データ流通基盤「Dot to Dot」 <https://biz.dot2dot.life/>

・2021 年 12 月 13 日付けニュースリリース「新潟市において、新潟市住民向けにまちなか消費・公共交通利用の行動変容を促す 地域アプリ「りゅーとなび」の提供とデータ利活用の実証実験を開始します。」

https://www.biprogy.com/pdf/news/nr_211213_niigata.pdf

※L-PASS、Dot to Dot は、BIPROGY 株式会社の登録商標です。

※その他記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

BIPROGY 株式会社 広報部 PR 室

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/